



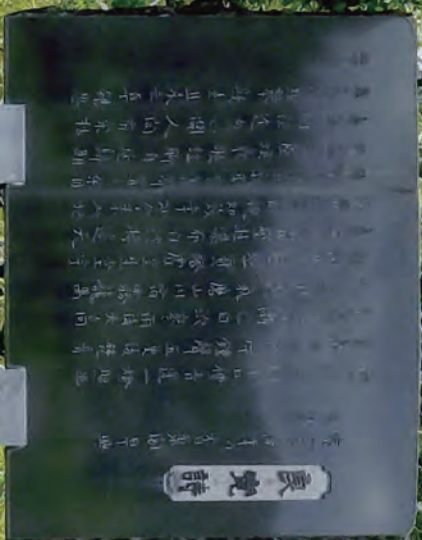
# やないづ 議会だより

Yanaizu  
No.186  
2026.5.29



## TOPICS

- ・アピア1 第2回議会 2ヶーから
  - ・アピア2 第1回定例会 4ヶーから
  - ・アピア3 一般質問 19ヶーから
- 今回は4名の議員が登壇し市政を話ししました。



柳津町

検索



令和8年春 つきみが丘の良寛像

<https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/>



## 第2回臨時会の主な議案

2月20日の第2回臨時会では、専決処分（補正予算）の承認、柳津町一般会計補正予算、工事請負契約の変更が審議されました。

### 「令和7年度一般会計補正予算」の専決処分について **承認**

令和7年12月17日に閣議決定された国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業（生活支援）と令和8年2月8日執行第51回衆議院議員通常選挙に関わる補正予算の専決処分について承認した。

補正内容	・ 総務管理費	物価高騰対策給付型商品券発行事業	60,004千円
【歳出】	・ 選挙費	衆議院議員選挙費	8,872千円

### 「令和7年度国民健康保険特別会計補正予算」 関連の専決処分について **承認**

国保診療所の医薬品購入費不足に関する補正予算の専決処分について承認した。

補正内容	・ 一般会計（保健衛生費）	国保会計（施設勘定）繰出金	4,000千円
【歳出】	・ 国保特別会計（施設勘定）	医薬品費	4,000千円

### 「令和7年度一般会計補正予算」について **可決**

一般会計の一部変更（総額の変更はない）を可決した。

補正内容	1. 職員用の業務用パソコンのリース料の債務負担行為（複数年にまたがる事業の設定をすること）について事業期間の変更と総事業費の増額。
	・ 補正前 令和7年度～令和12年度 限度額32,520千円
	補正後 令和8年度～令和13年度 限度額45,000千円
	2. 役場本庁舎のエアコン修理経費の追加（予備費で充当）
	・ 庁舎管理費 修繕費 1,600千円

### 「工事請負契約の変更」について **可決**

令和7年7月18日に議決した大成沢・冑中地区簡易水道整備事業舗装本復旧工事請負契約における契約金額の増額について可決した。

変更内容	・ 契約金額	当初：1億 395万 0千円
		増額： 672万 1千円
		変更：1億1,067万 1千円
	・ 契約相手	株式会社海老名建設 柳津営業所



### 「工事請負契約の変更」について **可決**

令和7年6月30日に議決したやないづふれあい館冷暖房設備工事請負契約における契約金額の増額について可決した。（非常用電源の給電口の増設）

変更内容	・ 契約金額	当初：7,920万 0千円
		増額： 214万 5千円
		変更：8,134万 5千円
	・ 契約相手	株式会社アークズ会津（会津若松市）

## 第2回臨時会の審議

2月20日の第2回臨時会においては「ふれあい館冷暖房設備工事の工事請負契約の変更」に質疑が集中しました。その内容について要約してご紹介いたします。

### 【質問】配線の長さについて（渡邊）

天井裏の60メートルの配線とは、どこに配線して、何のことなのか。

### 【答弁】（建設課長）

- ・切替用のケーブルで200から100ボルトということで、実測でも平面図で追っても60メートル弱あります。給電口を職員玄関側に付けるのか正面なのかという論点になると思うが、本庁舎との連携を見据えての位置取りと把握しております。



### 【質問】議案の再検討について（渡邊）

部品に対しての工事費も難易度によってランクがあるので、これは一度やり直して、もう一回提案していただきたい。今回は見送っていただきたい。

### 【答弁】（町長）

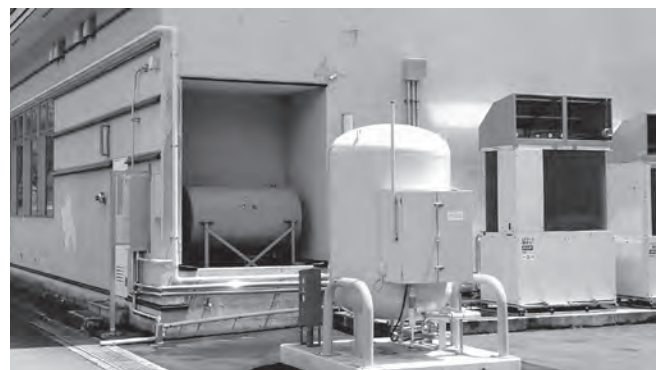
- ・給電口が役場側に付くという案で同意をいただいたと認識しております。建設課と公民館で協議をした議案だと思っておりますので、議案を取り下げのことは考えておりません。

### 【質問】法令等の遵守について（松村）

本工事において、一部の例外を除き、法令がきちんと遵守されているものと考えているか。その設置、バルクガスタンクと電源。

### 【答弁】（建設課長）

- ・灯油タンクがまだ現存しており、バルクガスタンクと2メートル以上離さなければならないが遵守しております。給電口や、まだ、はっきりとしていない発電機などは法的にうたわれておりませんが、消防署の指導で「最低限50センチ以上」ということでありましたので、遵守していければと感じております。



ふれあい館バルクガスタンク

【採 決】 賛成5、反対3（議長は含まない）で、原案とおり可決した。

議員名	小林浩	渡邊俊典	磯目泰彦	岩淵清幸	新井田順一	田崎信二	荒明正一	松村亮	齋藤正志
賛○否×	○	×	×	○	○	○	×	○	議長



## 第1回定例会の主な議案

### 「令和8年度柳津町一般会計」ほか 5の特別会計、2の事業会計の新年度予算 **可決**

定例会第2日（3月11日）に議員全員で構成される「予算特別委員会」に付託され、以降3日間に渡り、各担当課長と係長から説明を受けて詳細を審議した。（概要は8・9ページ）その結果を受け、全予算を可決した。

### 「柳津町乳児等通園支援事業」に関する2つの条例の制定 **可決**

児童福祉法の改正に基づく「乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」と子ども・子育て支援法の改正に基づく「特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例」の制定を可決した。

※こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）とは、親の就労要件に関わらず、0歳6か月～満3歳未満の未就園児が月10時間まで保育施設などを利用できる制度で令和8年4月から全国で実施され、1時間300円程度を標準として、集団生活の経験や親の相談支援、リフレッシュ等を目的としている。

### 「柳津町火入れに関する条例」の制定 **可決**

近年の気象変化による大規模な林野火災を防止するため、柳津町には火入れに関する条例がなかったことから、条例の制定を可決した。

※森林法第21条で、森林又は森林の周囲1kmの範囲内の火入れは市町村長の許可を要する。「火入れ」とは、立木竹、草その他の堆積物等を面的に焼却する行為で、たき火とは異なる。



### 「柳津町振興計画基本計画」（令和8年度～令和12年度）の策定 **可決**

令和3年度から令和12年度までの10ヵ年計画「第6次柳津町振興計画」の後期基本計画を策定し、基本構想の実現に向け、まちづくりの現状と課題を目的別に整理して体系的に示した5年間の基本計画の策定を可決した。

### 「過疎地域持続的発展計画」の策定 **可決**

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、柳津町のインフラ等整備計画の策定を可決した。

※人口減少と高齢化が著しい地域（過疎地域）の維持・活性化を目指し、令和3年4月1日から10年間（令和13年3月末まで）の期限付きで施行された法律で、財政支援（過疎債）や税制優遇を受けられる。

### 「令和7年度柳津町一般会計補正予算」ほか 5の特別会計と2の事業会計の補正予算 **可決**

主に各種事業の実績見込みによる精算と繰越事業についての補正予算を可決した。

※特に昨年末に閣議決定された国の物価高騰対策事業（柳津町では商品券発行事業や追加の子育て応援手当支給事業）や防災・災害関連事業、国の社会保障・税番号制度システム整備事業などが繰越しされた。

### 「柳津町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例」の一部を改正する条例 **可決**

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の一部改正などによる条例の一部改正を可決した。

※DV被害により実質的な「ひとり親」状態となったとき、保護命令等を証明することで住民票を移していなくても（加害者に知られずに）医療費の助成を受けられる措置等を盛り込んだ。

質疑されました

## 第1回定例会の議案審議

3月10日から10日間の会期で行われた定例会では、条例の制定・改正、町基本計画、令和8年度予算、令和7年度補正予算等を審議し、質疑応答を経て、すべての議案が可決（全会一致）されました。

### 頑張れ子育て応援金の支給等に関する条例

### 改正の経緯について

【松村】昨年6月に高校生の支援について質問したが、望むべき結果に至らなかった。町の捉え方が変わった経緯について伺う。

【町長】物価高騰が大きく影響しており、高校入学時に大変なお金が必要になってくるので、その対応を含めて入学時の応援金とし支給の方法も変えさせていただきたい。（現金と商品券の2通り）

### 柳津町森林環境整備基金条例の廃止

### 森林整備の財源について

【磯目】県の事業が終了したことを受けてのことではあるが、今後、森林整備の遅れが生じてくることが懸念される。新たな交付金等々はないのか。森林環境贈与税の配分等はどうなるのか。

【地域振興課長】森林環境交付金では、基金による長期的な活用はできなくなるので、令和8年度からは森林環境譲与税交付金同様に、当初に各自治体から要望を採りまして、交付決定され、その事業は単年度で精算する形になります。一部対象外の事業については譲与税交付金を充てながら進めていきたい。



## 令和7年度柳津町一般会計補正予算

### 物価高騰対策給付型商品券発行事業について

【渡邊】他町村では発行しているところもあり、なぜ翌年度に繰り越すのか。

【総務課長】商品券の使用期間を来年まで延長し、冬季の灯油代などにも使用できるようにしたいので、繰越事業にさせていただきたい。

### 景観形成支援委託料について

【松村】委託料を減額した理由について伺う。

【みらい創生課長】景観計画の策定に係る委託料が減額となり、歳入では景観改善推進事業国庫補助金も減となりました。総事業費の3分の1が国の補助金ですが、事業費確定による減額です。

### 防災物品の購入について

【磯目】扇風機や発電機等の購入ということだが、詳細と管理等を伺う。

【総務課長】パイプ折畳式布製ベッド約70台、発電機5台、気化熱冷風機、ジェットヒーター、簡易トイレ、バッテリー式LED投光器が各々10台で、格納場所については、よく検討していきます。

令和8年3月  
第1回定例会

# 令和8年度当初予算を可決!

一般会計44億3,500万円 特別会計合計11億7,233万円  
前年度比1億5,625万円(2.9%)の増額

【令和8年度重点的に実施する事業の一部を厳選して、ご紹介しております】  
詳細につきましては、広報やないづ Vol.688 をご覧ください

## 齋藤清美術館 開館30周年に向けた プロモーション事業 14,177千円

令和9年度に迎える開館30周年に向けて来館促進、認知向上を高めるための事業、展覧会を開催し、齋藤清美術館をPR広報を行う。



## 文化財保存活用 地域計画策定事業

13,155千円

文化財の保存・活用に関するマスタープランの策定。

## 地域農業担い手経営

支援事業 10,475千円

地域農業を担う経営体の育成。農業用機械等購入補助。

## 農業振興拠点整備事業

1,324千円

農業の拠点施設を整備するため、旧郷戸保育所の解体設計を行う。

## 令和8年度の重点施策

地域行事の  
継承、文化財の  
保存・活用と  
芸術文化の振興

移住定住交流  
の推進



農林業  
の振興

公共交通  
の充実

## 地域おこし協力隊事業

109,624千円

地域外の人材を受け入れ地域協力活動を通して移住定住を図る。

## 空き家活用事業

37,000千円

活用が可能な町内の空き家を移住定住に向け国庫補助を活用し改修する。

## 町営住宅改修事業

25,000千円

「公営住宅長寿命化計画」に基づいた計画的な改修、修繕等を実施する。

## 鳥獣被害防止 対策事業

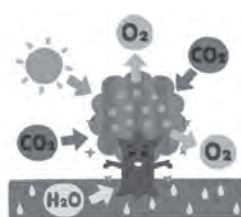
10,025千円

有害鳥獣捕獲従事者支援事業  
鳥獣被害防止対策（電気柵補助）

## 森林環境譲与税事業

18,696千円

会津桐製品配布、森林境界明確化、Jクレジットの創出、森林利活用ビジョン運営。



## 町民バス再編実証プロジェクト事業

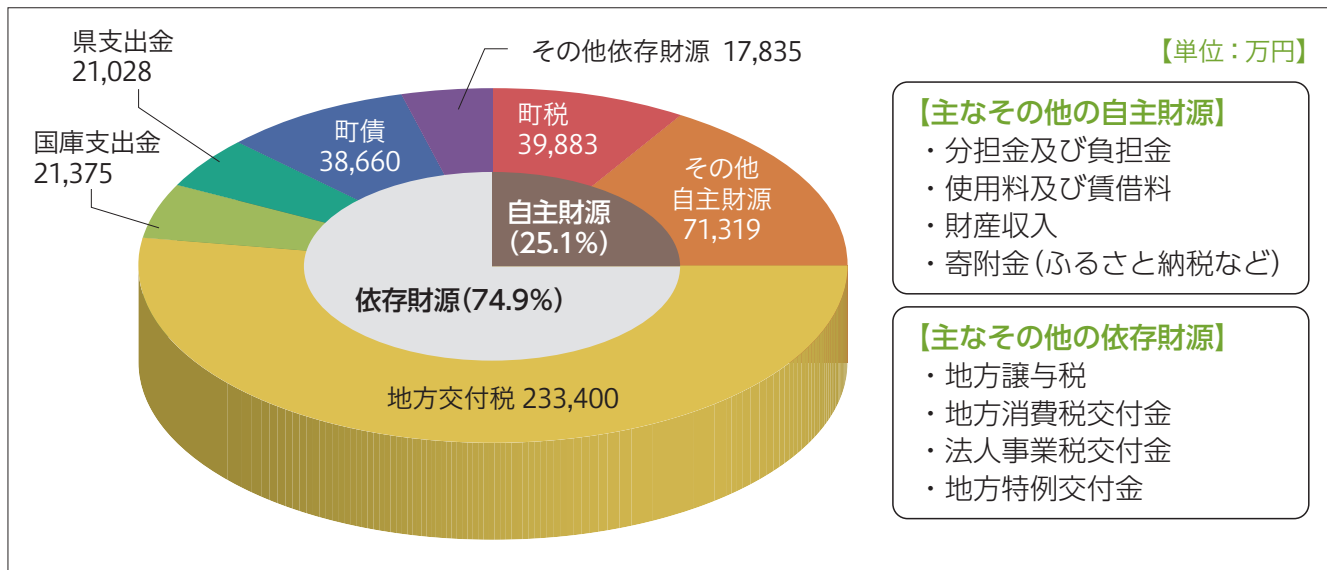
34,169千円

町民バスの運行方式の見直しを図るための実証実験を実施する。

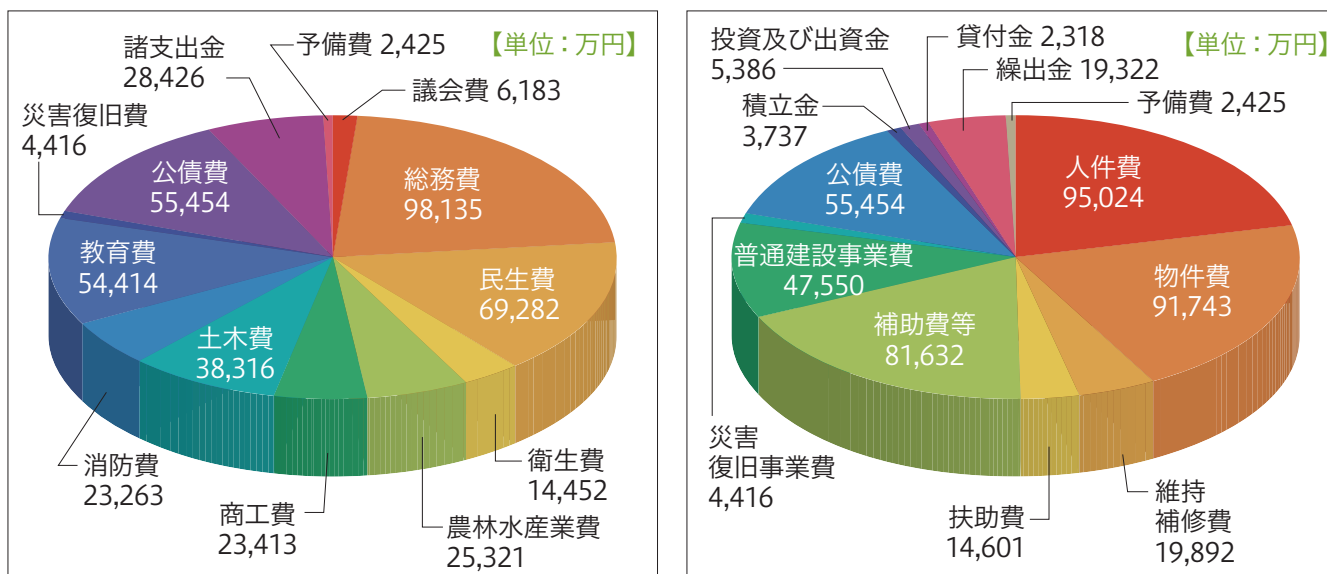


# 当初予算

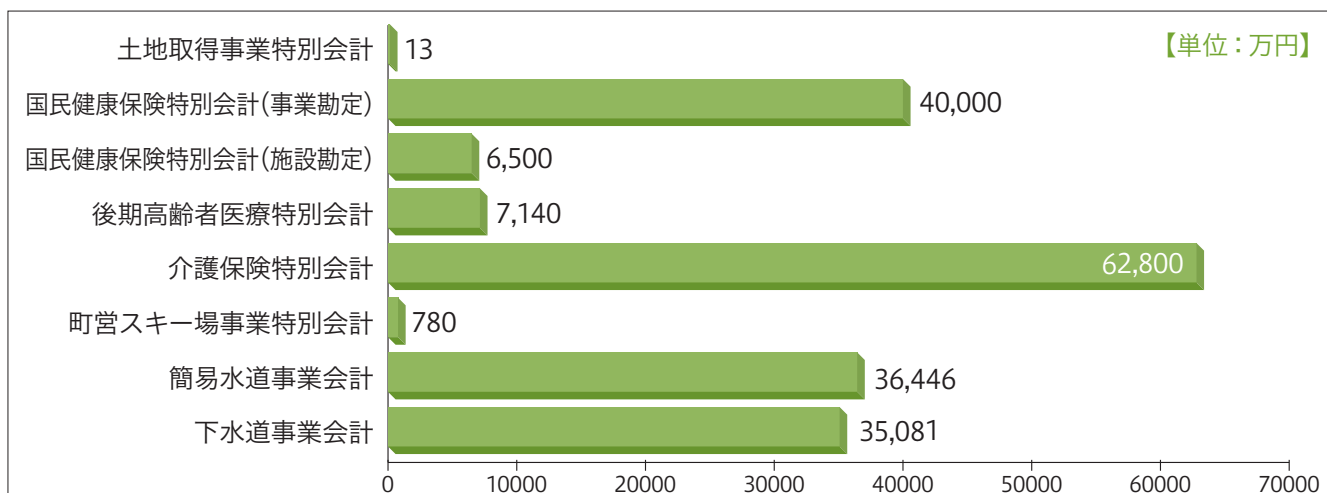
## 令和8年度一般会計歳入(財源別) 443,500万円



## 令和8年度一般会計歳出(目的別・性質別) 443,500万円



## 令和8年度特別会計・企業会計予算(5特別会計、2企業会計)



## 令和8年度 予算特別委員会 質疑

(3月12日から3日間、行った質疑の一部を抜粋して紹介します)

### Q 鳥獣被害対策について(新井田)

職員の狩猟免許取得、猟銃の購入補助などが挙げられているが、安全性を十分に考慮してから許可して頂きたいがいかがか。

### A 緊急銃猟は許可しない

市町村長の判断によるが、法整備等が充分ではないので、許可しません。

### Q 森林整備の実施体制について(渡邊)

これからの森林整備を行うため、個人事業者や団体等を育成していくのか。それとも民間業者に任せる予定なのか。

### A 後継者の育成を先導したい

ふくしま森林再生事業が終わるので、民間に活躍していただきたいが、後継者を育てるための先導する動きは必要なのではないかと考えている。

### Q 大学生等への支援事業について(小林)

町出身の大学生等へお米パックを配る事業で、大学生以外の等とは誰なのか。また何名分で計算されているのか。

### A 大学生だけではない

19歳から22歳までの約70名を対象者にしており、大学生のほか町外で就職されている方にも配付を予定している。

### Q 景観計画策定に係る経費について(岩淵)

景観計画の策定についての見通しとその後の進展について伺う。

### A 3年間にまたがるのが想定される

令和8年度より概要から規制に係る部分の議論に替わっていき、住民の方に影響がある部分で、慎重に進めていく必要がある。国の補助に合わせた予算を計画していく。



令和7年議会行政調査 岡山県高梁市

### Q 「まちづくり」について(齋藤)

人口減少対策は喫緊の課題であるが、我が町には素晴らしい素材がいくつもあり、その活用が重要だと思うが、見解を伺う。

### A 唯一無二のまちづくりで

歴史、文化、景観、伝統食など、独自のものを磨き上げることが、唯一無二のまちづくりに繋がり、最終的には魅力とにぎわいになっていくと考える。

### Q 小学校の統合について(齋藤)

小学校の児童数が減少しており、何らかの手を打たなければいけないと思うが見解を伺う。

### A 会議体を設けて検討していく

出生数の減少は大変なことだと思う。子どもたちの教育、未来を考える時期に来ていると思う。どうしていくべきか、早急に会議体を設けて検討していきたい。

### Q スキー場施設の再編について(新井田)

公共施設再編プロジェクトチーム(仮称)を立ち上げたということだが、スキー場については、どのような方針で、いつまでに結論を出すのか。

### A チームでの検討を開始した

今年度の調整会議(係長)の中で立ち上げた。スキー場の現状等を情報共有しておりますが、いろいろな提案を作って、中身を詰め、来年度中に方向性を出していきたい。

### Q 銀山煙突の保存について(新井田)

文化財は、一度、失われると再生が効かない。銀山煙突については、すでに朽ち始めていると思えるが、今後の利活用については、どのように考えているか。

### A 立体的データの記録・保存で一区切り

保存方法や費用を含めた詳細な調査の結果を検討したところ、周辺の開発等を含めた利活用が難しいため、今のところ文化財指定や開発計画は考えていない。立体的なデータとして記録・保存は出来たので、一区切りしたと考えている。

## 予算特別委員会

### Q 部活動外部指導者謝礼について(小林)

部活動の地域移行は国の方針で行っているが、財源として国からの補助はあるのか。

### A 補助が受けられなかった

地域学校活動補助金の適用ができるということで申請していたが、先月対象外になったという連絡を受け、取り下げした。来年度は別な補助金を検討していく。

### Q 公営住宅管理費について(田崎)

公営住宅入居者の苦情や問題点についての定期的な集会等は実施しているか。また空き部屋の修繕は予算に反映されているか。若者定住促進住宅のWi-Fi電波が弱いということだが。

### A 現状を調査したい

入居者の定期的な集会はやったことがなかった。修繕関係の予算は700万円計上してあるが、畳替えは退室者の負担で行うことになっている。Wi-Fi電波の件は調査をしたい。

### Q 団地造成・宅地分譲について(松村)

町の施政方針に移住定住の推進とあるが、住居政策には言及がなかった。宅地造成の経過についての説明はあったが、どのような指示が出ているのか。

### A 空き家対策も視野に入れたい

議会からの意見もいただいている小規模分譲地の確保もゼロになってはおりませんが、近隣の所有者等の調査も必要で時間かかりそうです。

また、空き家が著しく増加しており、その活用や解体後の空き地の活用も考えていきたい。

### Q 滝原ごみ処理最終処分場管理負担金とは(磯目)

50万5千円の内容を伺う。

### A 廃止のための検査項目が足りない

5年度に廃止のための工事が完了し、2年間の経過検査をしていたが、検査項目が足りなかったため、さらに2年間の検査費用が必要になった。

## 予算特別委員会総括審議

3月17日予算特別委員会最終日、令和8年度柳津町会計予算について14項目からなる予算意見書を付して採択することに、全会一致で決定しました。14項目の概要は下記のとおりです。

1. 適正に予算を執行し物価高騰などに対応出来るように努めること。
2. 第6次柳津町振興計画（後期）の基本目標の実現に向け、事業評価を行い、町民の満足度向上に努めること。
3. 町民センターについて、道の駅周辺施設の再編を含め、関係者との合意と具現性のある「あり方」を本年度内に必ず明示すること。また、町営スキー場は、跡地利用を含め、地権者との合意を得て、本年度内に必ず方向性を示すこと。
4. 新分譲地造成は、議会同意のもとに進め造成計画を明示し、スピード感をもって実現すること。
5. 不公平感が生じないよう滞納徴収に取組み、ふるさと納税や町税等の自主財源の確保に努めること。
6. 町補助金、指定管理委託料、業務委託料は、実施状況等を精査し、適正な執行に努めること。
7. 新規事業は事前説明と経過説明を議会に行うこと。
8. 柳津町DX推進計画を基に町民の利便性向上と職員の業務効率化に努めること。
9. 土砂崩れ、雪崩、空き家倒壊などの災害防止のため、事前対策の実施と支援の充実を図ること。
10. 各地区での防災訓練の充実を図り、消防団の組織強化と団員確保に努めること。
11. 鳥獣被害対策として、捕獲員の確保、講習会での技術向上、猟友会との協力体制強化を図ること。
12. 「ふくしまディステーションキャンペーン」で町内業者支援と活性化を広域的観点によるアフターDCも視野に継続して努めること。
13. 充実した学校教育推進のため、3校の連携強化と児童数減少に対応したあり方の検討を速めること。
14. 魅力的なまちづくりを進め、交流人口、関係人口、移住定住への流れを推進し、人口増加に努めること。



8番 田崎信二 議員

人口減少に対応する方策について  
質します！

町長 住宅政策の推進を図ってまいります。



**Q** 人口問題は心配を余儀なくされることであり町は「移住、定住、交流の推進」を掲げて事業を推進させている。そこで次の点を伺う。  
①事業の進捗と動向  
②公営住宅等の入居状況

**A** (町長) ①空き家バンクや地域おこし協力隊の活用、公営住宅の整備、新築住宅への補助、姉妹都市出雲崎町や東京都お台場地区との交流事業を実施した。  
交流・関係人口創出では新たなプラットフォーム(インターネットでの活動場所)の構築、移住定住コーディネートターの活用、ふるさと納税寄附者との交流等に取り組み。  
②令和7年度は入居12戸、退去9戸、政策空き家の平屋建て19戸を除く132戸中113戸に入居、空き室は19戸となっている。

しかし、制限がない一般住宅は空き室がない状態で最優先で解決すべき課題の一つとなっている。

**Q** 振興計画の人口の展望では、各種施策を着実に実行して、令和12年に2700人を維持するとあるが、考え方を伺う。

**A** (みらい創生課) 令和12年の目標達成は難しい状況です。国立社会保障人口研究所による推計では2497人と推計されており、町の目標値も見直している。

**Q** 子育て応援の商品券支給等では、喜ばれるような方法を検討すべきだと思うがいかがか。

**A** (町長) 使い勝手のよさと町内消費の喚起の要請があり、商品券だけであったものを商品券と現金の半分にしたい。

**Q** 学校教育が今後どのような方向性になっていくのかを伺う。

**A** (教育長) 実態踏まえ、保育所、小学校の在り方も検討しなければならぬ。町の総合教育会議や町長指示があったので、次年度、検討会議を立ち上げたい。

**Q** 移住・定住に関わる取り組みを行っているが、あまり成果が出ているようには見えない。何が不足しているのか。

**A** (みらい創生課長) 足りない何かを先進地研

修などで勉強し、町に合うような対策を講じるしかないと思っている。

**Q** グリーンツーリズム事業が久保田地区の方々の高齢化により終了という報告を聞いた。その後、ほかの地域での取組み等があればお聞きしたい。

**A** (地域振興課長) 現在、グリーンツーリズムを、実施したい地区や、ご意見、要望等はありません。

**Q** 今後、交流を広げている事業の計画があれば、具体策について伺いたい。

**A** (地域振興課長) ボランティアに各地区に入ってもらい「いなこといなか」という事業があり、地区の負担を軽減し、グリーンツーリズムに代わる方法の一つだと考えている。

**Q** 関係交流の具体例で、日本三大虚空蔵菩薩の関係による県外市町村と交流を持つことはできないか。

**A** (地域振興課長) 共通点はあるが、各地にあると思うので、小さな交流から繋がってほしいと考えている。

**Q** 町営住宅について、「全て壊して建て替えるより、今ある建物をリフォームして若者が住みやすくする方法もあると思う」という答弁があった。1年経過し、どのように進めてきたのか伺う。

**A** (町長) 制限を緩やかにして入退しやすしい住宅にしたい。来年度、実験的に一戸の予算をお願いしたい。

**Q** 最近二世帯という言葉が聞かれる。施政方針には新婚世帯の新生活への経済的支援という項目もあるが、住宅に対する取組対応を伺う。

**A** (町長) 他世帯住宅への改修は新築するほどかかってしまう。親子一緒に住むことを支援するため、新たな制度を設けてもいいのかもしれない。令和8年度は調べ、制度設計までできれば、来年度予算という手順で前向きに考えていきたい。

**【意見】** 人口減少により受ける影響は多大であるというの1つや2つの課の問題ではないので、一丸となって対応に取り組むべきだと思う。

町長の義勇隊



6番 岩淵清幸議員

1. 農業の将来をどうするのか？  
2. つきみが丘町民センターのこれからは？

町長

- ①協議連携を図り持続可能な農業を目指していく  
②町民の意見を反映させ、協議・検討を進める



**Q** 耕作放棄地の防止や景観の保全のため「中山間地域等直接支払制度」の6期目が終了する4年後を見据え、今から対策を検討するべきと考えるが当局の考えは？

**A** (町長) 農地を効率よく集約・集積してスマート農業を導入し、個人農家や地域の受皿となる法人、集落営農組織等が各主要地区に設立され、年齢や農業規模の差はあるが協力して農業経営を行うことが将来像、理想であります。今後も、みらい農業会議等の協議連携を図り持続可能な農業を目指していく。

**A** (地域振興課長) 農地は個人財産なので、みらい農業会議等と協議、相談し、補助事業として適切なものか、どのような対応、対策が可能なのか判断していきたい。また、地域おこし協力隊による地区の管理保全活動等も併せて協議できれば思う。

**Q** 町長の公約にもあるスマート農業の推進をどう図っていくか？今年度の具体的な施策はあるのか？また推進のためモデル地区の設定

は考えていないのか？

**A** (地域振興課長) 省力化等のメリットを最大限に活かすため法人等を設立していただき、その支援をとおして小規模農家のサポートを図っていききたい。令和8年度は関係機関や生産者との協議により補助金要綱等の見直しも視野に入れていきたい。

**A** またモデル地区の設定は良い方法であるが、意欲が重要だと考えており、よく協議して判断していきたい。

**Q** 旧郷戸保育所を解体し、農業振興拠点として整備する計画だが、どのような施設で、誰がどのように利用するのを想定しているか。

**A** (地域振興課長) 玄米の貯蔵庫、精米プラント、作業スペース、6次化商品の加工所、事務スペースを備えた施設として、農業法人が主となり、農業生産者や地域おこし協力隊が利用することを想定している。

**Q** 今後の法人数をどの程度まで増加させたいと考えているのか伺う。

**A** (地域振興課長) 具体的な目標数は持っていない。法人化したい声があれば、できる限り支援をさせていただきたい。みらい農業会議は重点地区として、郷戸、細八、藤、西山支所地区を挙げていく。



**Q** 町民センターについて4年前に質問した折、今後5年の間には整備計画を作成するとの答弁があったが、その後の進捗について伺う。

**A** (地域振興課長) 令和5年度に関係者等でのワークショップを開催、庁内でも協議した。町施設全般の再編が必要ということで、プロジェクトチームを立ち上げ、7年度からは、地域商社の立ち上げも共に進めており、令和8年度も継続していく。

**Q** この問題を先送りすれば、するほど、将来的な財政負担は増すばかりと考える。4年間、ほとんど進展しなかった責任をどう感じているか？

**A** (町長) 寄り道の議論もあつたかもしれないが、無駄ではなかったと考えている。これまでの議論を活かし、ふるさと再生事業を活用し、さらに議論を深めたい。

**Q** 町民センターの将来像について、自らの任期中に基本構想を示す考えがあるか伺う。

**A** (町長) このプロジェクトは非常に大きな事業になってくるので、後悔するよくな事業にしたい。そして、政治家として、自分の任期中に方向性は見いだしたいという思いを持っております。





7番 新井田順一議員

役場庁舎のバリアフリー化をするべき！

町長 お質しを参考に町民の皆さんと  
共に考えていく。



A

(建設課長) 今の支所は事務室、公民館、診

Q

支所にはエレベーターが設置されており、このときに、どういう検討されていたのか。もう必要性は決まっているのではないか。何で、そういう差別をするのか。

A

(総務課長) 支所の改修工事では、バリアフリーの制限があり、その際にエレベーターを設置する必要があった。

Q

支所にはエレベーターが設置されており、このときに、どういう検討されていたのか。もう必要性は決まっているのではないか。何で、そういう差別をするのか。

A

(町長) ①町役場庁舎のエレベーター設置は必要性が長年議論されている。検討はされたが、財源の確保が難しいため見送られてきた。お質しのとおり、公共施設のバリアフリー化は大切なことでもあるので検討していく。②庁舎を末永く大切に使用していきたい観点から、利用者の方にはお手数ですが、これまでどおり土足禁止で運用していきたいと考えている。

Q

町役場庁舎のバリアフリー化について

①町役場庁舎三階に通じるエレベーターを設置すべきと思うがいかがか。  
②町役場庁舎を土足可能とすべきと思うが、見解を伺う。

A

(総務課長) 町民の負担に込める方法として、

Q

町民の命を預かる町長。それでいいのか。3階に歩いてきて、つまずいて転落とか、体の具合が悪いのに、また具合が悪くなったとか、そういう人たちのことは頭にないのか。

Q

町民の命を預かる町長。それでいいのか。3階に歩いてきて、つまずいて転落とか、体の具合が悪いのに、また具合が悪くなったとか、そういう人たちのことは頭にないのか。

Q

費用的にも、設置するにも、部屋の真ん中に外付けをするわけにいかないのか、通路や廊下に付けて造るとなると、構造的にも課題が出てくる。一階のフロアで済むような努力をしていきたい。また階段に取り付けるリフトで対応できないかと検討させていただきたい。

A

(町長) エレベーターがあればいいと思うが、

Q

「公共の建物にはバリアフリー化が必要ではないのか」ということであり、町民の安全、負担の軽減とか危険防止、そういうことでやるべきではないか。

Q

バリアフリーの基準という問題ではなく、

療所、西山保育所の四機能持つており、公民館として使用する場合にはバリアフリー化をしなければならない。

A

(総務課長) 改めて各種補助の可能性を確認したが、交付に条件があり、

Q

この議場や会議室を一階に持っていけるのか。

A

(町長) 町民の安全・安心は守ることにつながると思うが、そこに至るまで検討すべきことがあることをご理解いただきたい。

Q

お金の調達のことをよく考えて、調べたのか。

A

(総務課長) エレベーター設置の補助等で充てることのできる可能性が、今の確認できるものが、今現在なかった。

Q

国交省の補助金で社会資本整備総合交付金、既存建築物バリアフリー改修でエレベーターも含む。防災・安全交付金、改修が中心だが新設も相談可能。中心市街地活性化関連交付金、公共施設のバリアフリーも含まれる。調べた結果、こういうものがあるのだが。

A

(町長) 質問を受けるまでは、いいことだと思っていたが、いろいろなお意見があるということも知り、町民の皆さんとも話をして、考えていきたい。

Q

各県庁や議会を見て回ったが、土足で上がったいいところばかりで「スリッパに履き替えてください」という議場は、どこにもなかった。「これまでどおり、土足禁止で運用していきたい」ということは、利用者の方に「命がけで来てください」という答弁になると思う。突っかけて危ない履物に、わざわざ履き替えさせるというのは、町民のことを考えてのことなのか。



エレベーターでは、今すぐにはできないので、一階に下りて事務処理を行うというような対策、対応をしていきたい。

町庁舎には該当しなかった。



2番 わたなべとしのり 渡邊俊典議員

柳津町の人口減少をどのように阻止する？

町長 公営住宅や空き家の利活用、公共交通の見直しを。



**Q** 人口減少について、昨年質問して1年経ったが具体的な提案や施策がない。若い世代の住居離れが進んで弊害が出ている。この状況が進めば町の機能が失われ、危惧を抱かざるを得ないが、どのような認識や施策を持ち、将来像を描いているのか。

**A** (町長) 人口減少を少しでも穏やかにするため、保育料や給食費の無償化、子供医療費助成などの子育て支援、新築住宅や空き家改修への補助、交流イベントや県とのPR事業、地域おこし協力隊制度等の活用を行っている。  
令和8年度は公営住宅を快適にする事業や町で取得した空き家を地域おこし協力隊の住まいにする事業などの予算を計上した。また、引き続き公共交通の見直しの実証実験も行う予定です。  
人口が減少しても、誇りを持ち、幸せに暮らしていけるような、持続可能な町を将来像として努力していく。

**Q** なぜ、若い人が柳津にいないのか。住めないのか、住む気にならないのか。

**A** (町長) 町外に住んだり、通勤が便利、都合がいいなど、事情が個々にあると思う。若い人は都市部が魅力的に見え、住んでみたい思いがある。

**Q** 「公営住宅の一部で所得上限や世帯構成の制限を緩和し、目的外使用による一般住宅の整備、拡充を進めよう」としているのか。

**A** (建設課長) 例えば、地域おこし協力隊専用住宅として制限を取り払い、都市部からの移住者限定にすることを国に届出して活用する制度を「公営住宅の目的外使用」と言っている。会社の社宅や若者向けの賃貸で活用できるように8年度は水回りを直していきたい。

**Q** 家を建てるための町の分譲地をやめたみたいだが、これからのことを、どのように考えているのか。

**A** (町長) 大規模な分譲地は、現在考えておらず、小規模な分譲というご意見もいただいている。合わせて、空き家を解体した更地を所有者の意志表示をいただいた

て、建てたい人にあっせんするような仕組みづくりをやってみたい。

**Q** 解体と新築への補助金の在り方も見直すべきではないかと思う。二世帯世帯も考えて、解体して建て直すということに対する補助金も充実させる考えはないか。

**A** (町長) 解体する時は建物の傷み具合やその後の利用により原則50万円の補助が、新築する時には、200万の補助金が出ているので、そんなに古くなってない建物を壊して同じ場所に建て替える場合の補助について検討したい。

**Q** 今回、オンデマンド(のための実証実験)をやったが「子育てのための交通」(のための実証実験)という考えはないのか。

**A** (町長) 子供たちの送り迎えや通学に不便を感じている子育て世代からの話があり、今回の実証実験に取り込んで、利便性も図っていきたいと考えている。

**Q** 去年も言ったが、今、熱中症問題で騒いでい

る時に、なぜ住宅の人たちにエアコンをつける補助金がないのか。そういう差別するの。結局、若い人も含め、よそに行けば皆付いている時に住宅設備関係、少なくともエアコンの補助金は、今回から当てはめられるのか。

**A** (町長) この辺については、よく整理をさせていただきます。

**【意見】** いろいろな子供たちへの補助金などがあつたりするのはいいと思うが、住まいへの対策をもう少し考えていただきたい。



## 議会モニター意見交換会

3月10日（火）役場庁舎3階の正副議長室で議会モニターとの意見交換会を開催しました。1年間の議会を傍聴して感じたこと、議会運営で改善してほしいことなど、いろいろなご意見をいただきました。ありがとうございました。

いただいたご意見の一部を要約してご紹介いたします。



意見交換会の様子

### 【ご意見】

- ・3階の議場までは足が悪く、大変だと言う声が多く聞かれます。3階までエレベーターを作ってほしい。コスト面で大変だと思いますが、開かれた議会という点で、ご検討よろしくをお願いします。
- ・総務文教常任委員会の行政調査報告に、西山小学校の児童数7名の現状を考えた時、今後の学校運営の在り方として、研修したものを活かす機会があったらと切に思います。
- ・質問していない議員さんたちの中には、関心がないように見える方もいる。議員として、報酬の議論等も出ている今、そうであってはいけないと思う。
- ・簡潔な質問の仕方を望みます。まだ実施されていない事業に対して要望を出したり、同じような内容の質問を繰り返したり、答弁する側も同じ答弁を再三行ったりと、長すぎる質疑応答が気になりました。

## 第3回臨時会の主な議案

### 「柳津町議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」 **可決**

国が進めている地方議会改革や経済対策などにより議員報酬の見直しが進んでいる中、町特別職等報酬審議会の答申に基づき、耶麻郡、河沼郡、大沼郡10町村の平均による報酬月額の変更を可決した。

### 「令和7年度一般会計補正予算」について **可決**

国からの交付金等が確定したことによる予算額の変更について可決した。

**主な内容** 地方揮発油譲与税・環境性能割交付金等の減額、自動車重量譲与税・森林環境譲与税等の増額  
 地方交付税（特別交付税・震災復興特別交付税） 9,020万2千円の増  
 寄附金（一般寄附金・企業版ふるさと納税） 250万円の増  
 財政調整基金繰入金 500万円の減、減債基金繰入金 9,100万円の減

### 【質問】環境性能割交付金の廃止について（磯目）

国では今年3月31日をもって自動車税環境性能割を廃止するようなので、今後の動きと代替財源の見通しについて伺う。（※令和8年4月1日で廃止されました）

### 【答弁】（総務課長）

- ・2019年代には自動車取得税であった自動車取得時に係る環境性能割でございりますが、動向を踏まえて適正に対処していきたい。想定ではありませんが、道路の補修や整備関係に影響が出るものと思われます。



## 第3回臨時会(3月30日)で新たな議会構成となりました

# 議長・副議長 就任のご挨拶



議長 齋藤 正志

町民の皆様方には、日頃より町議会に対しましてご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

私こと、この度、3月の議会臨時会において、議長に選任されました。誠に身に余る光栄でありますとともに、この職責は、極めて重く、身の引き締まる思いでございます。

さて、柳津町の現状といたしましては、少子化や若者の流出により人口減少が進み、様々な問題や課題を抱えております。課題解決のため、若い力を、そして柳津町に関係のある人たちを取り戻し、町にあるものを磨き上げ、文化の保存・活用と継承をしていきたいと考えております。町の発展には、賑わいの創出が欠かせません。もう一度柳津町に住んでもらえるような、もういった柳津町にしていかなければなりません。様々な制度を活用し、未来に残るまちづくりを推進して参ります。

私たち議会は、町民の皆様から選ばれたということ肝に銘じ、町民の皆様の声を聴きながら、開かれた議会を目指して、町政発展のために、誠心誠意努めて参る所存であります。

今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



副議長 磯目 泰彦

町民の皆様には、日頃より町議会にご理解、ご協力を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

この度、3月臨時議会におきまして、不肖、私が議員各位のご推挙を賜り、副議長の要職に就任させていただきました。また、ことに光栄であるのと共に、その責任の重さを痛感しております。

さて、現在の世界情勢に目を向けますと、大国を含む緊張が高まり、尊い人命が数多く失われていることは痛恨の極みであります。更には、経済状況の悪化が世界中に大きな影を落とし日本への影響が危惧されています。我が町においても、その影響と共に人口減少や少子化問題など数多くの課題が山積しております。厳しい財政状況の中、各事業を確実に進めることで、議会と行政が同じ将来像に向け邁進できるよう、議長の補佐役として、その責務を果たしてまいりたいと考えております。

今後とも、議会へのさらなるご理解を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

## 担当する委員等も替わります

—3月30日選任—



田崎 信二  
議員

◎議会運営委員長  
・総務文教常任委員



新井田 順一  
議員

◎広報常任委員長  
○総務文教常任副委員長  
・広域市町村圏整備組合議会議員



岩淵 清幸  
議員

◎産業厚生常任委員長  
・議会運営委員



松村 亮  
議員

◎総務文教常任委員長  
・議会運営委員



渡邊 俊典 議員

○議会運営副委員長  
・産業厚生常任委員



小林 浩 議員

○産業厚生常任副委員長  
○広報常任副委員長  
・町監査委員



荒明 正一 議員

・総務文教常任委員  
・広報常任委員



副議長 磯目 泰彦

・産業厚生常任委員  
・広報常任委員



議長 齋藤 正志

・総務文教常任委員

## 齋藤清美術館開館30周年記念プレ企画展オープニングセレモニー

4月10日（金）、来年度に開館30周年を迎える齋藤清美術館において、プレ企画展の開催式典が行われました。

来年度から始まる30周年記念事業をPRする企画展として位置づけられており、今後も継続した企画展やイベントが予定されております。



## 齋藤正志議長、福島県町村議会議長会副会長並びに 両沼地方町村議会議長会長に就任!

今年度より両沼郡の7町村議会議長により組織される議長会の会長に、我が町議会の齋藤正志議長が選ばれました。また、福島県内の町村議会議長で組織されている議長会の副会長にも選任されました。

## 令和8年度 町スポーツ協会総会に出席（議長）

4月17日（金）やないづふれあい館において、町スポーツ協会の総会が開催されました。

町議会を代表して、議長が出席し、町のスポーツ振興、ウォーキングなどの健康増進事業の推進、スポーツを通じた生涯学習などに貢献されている関係者の皆様に感謝の意を述べました。



## 出雲崎町議会との交流会

5月14日（木）柳津町議会議員一同で柳津町と姉妹都市となっている新潟県出雲崎町を訪問しました。出雲崎町は、柳津とご縁が深い良寛様の生誕の地であり、名所古刹が多いところです。

当日は晴天に恵まれ、出雲崎町の議会議長をはじめ、議員や町長などの歓迎を受けて、出雲崎町中央公民館講堂で、まちづくりをテーマにした意見交換会を開催しました。

人口減少対策など地方行政の喫緊の課題について、時間の許す限り、質疑応答をすることができました。



意見交換会



良寛記念館にて

## 監査委員による指摘事項のうち措置を講じたものについて(抜粋)

令和7年度に行った決算審査・定期監査の結果に関する措置状況について、町長、教育長から報告がありましたので、その内容の一部を抜粋してお知らせします。



### 【令和7年10月23日 定期監査 みらい創生課みらい創生係】

空き家対策に対する各種補助事業の活用が今後とも多くなってくることが予想されますので、予算的な措置に万全を期して頂きたい。

(回答) 空き家の除却、家財撤去、改修の補助事業を継続して実施し、不良空き家の早期除却を進めるとともに空き家の利活用も進めるため、要綱等の改正や予算の拡充について関係課と協議していきます。

### 【令和7年10月23日 定期監査 公民館生涯学習係】

各種団体等の公金管理が19団体と最も多く、今年度中に3団体の削減を図るとの事ではありますが、その事務量は多大なものと推測されます。市町村対抗各種スポーツ大会に係る経費の管理等やむを得ない公金管理を除き、類似団体の統廃合や公金管理の団体への移行等、更なる削減の検討をお願いします。

(回答) 令和7年度に削減を予定していた3団体について、削減を実施しました。残る団体につきましても経費の管理等、公民館での管理がやむを得ないものを除き、団体自身による資金管理が行えるよう指導や助言を継続して行います。

### 【令和7年10月24日 定期監査 教育課美術館係】

斎藤清アトリエ館の今年度半年間の入館者数は408人で月平均68人であり、前年比184%となっはいるが、美術館の入館者数(同6,909人)と比較すると6%に留まる。これはアトリエ館の存在が一般的に知られていないと思われることから、美術館入館者に対しアトリエ館のパンフレット等を配布しながら言葉で案内をする取り組みも検討して頂きたい。

(回答) 美術館については、展示替え等により作品が変わるため、リピーターの方も多く来館されているが、アトリエ館については、斎藤先生が制作活動を行った場所であり、作品等の展示もないことから、リピーターはなかなか望めない状況である。初めて来館された方が、アトリエ館へも足を運んでいただけるよう、受付等目につくところに案内パンフレットを設置し、言葉による案内も継続して行うとともに、アトリエ館を活用しての事業も行っていきたい。



### 【令和7年10月30日 定期監査 総務課財政係】

町における令和6年度決算の経常収支比率は84.3%となっており、前年度を2.4%下回ったものの、町単位では75%を超えると自治体自身の裁量で使えるお金が少なくなり、財政が硬直化します。このことから財政状況は非常に厳しくなってきますので、あらゆる交付金やより有利な地方債について、検討を行ってください。

(回答) 住民ニーズの多様化から様々な事業を行っていかねばなりません。新規の事業はもとより既存事業においても国県の補助金等を積極的かつ柔軟に活用するよう職員へ指導するとともに、予算編成においても有利な地方債の充当を検討してまいります。

## — 議会の動き (令和7年第4回定例会以降) —

- 12月16日 年末年始の交通事故防止・地域安全運動夜間パトロール
- 24日 広域市町村圏整備組合議会臨時会(会津若松市)
- 1月 5日 町民年頭賀詞交歓会(町民センター)
- 10日 町消防団出初式(町民センター)
- 20日 議会運営委員会・議会全員協議会・第1回臨時会
- 25日 会津坂下地区交通安全協会柳津分会交通安全祈願祭(圓藏寺)
- 27日 第2回町海外派遣事業実行委員会(大会議室)
- 2月 2日 会津総合開発協議会会津若松地方部会講演会(会津若松市)
- 7日 第46回会津やないづ冬まつり(道の駅会津柳津)
- 9日 広域市町村圏整備組合議会定例会(～20日)(会津若松市)
- 10日 両沼地方町村議会議長会定期総会(会津坂下町)
- 13日 町文化財利活用検討会(大会議室)
- 19日 第5回やないづ振興公社理事会(町民センター)
- 20日 議会運営委員会・議会全員協議会・第2回臨時会
- 24日 レガシー形成事業先進地視察調査(～26日、兵庫県)
- 27日 第22回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会出場選手壮行会(第2会議室)
- 3月 3日 議会運営委員会

演題  
「都市と地方をかきまぜる」

株式会社雨風太陽  
代表取締役社長  
高橋 博之 氏

○内閣府「新しい地方経済・生活環境創生会議」有識者構成員などに就任している。著書多数あり

## 町民と議会との懇談会を募集中

町議会では、活力ある地域社会の構築を目指した議員活動を行うため、町行政区や各団体の方々から多様な意見をお聴きしたいと考えております。テーマ毎に担当する議員が出張します。ご希望いただける場合には、専用の申込用紙にご記入していただきますので、議会事務局にお電話をください。

☎ 議会事務局 ☎42-2390

※申込用紙を開催希望日の1ヶ月前までにご提出いただきますようお願いいたします。  
用紙は議会事務局と役場支所でお渡しできます。また、町の公式ホームページからもダウンロードできます。



## 次回定例会のお知らせ

令和8年 第2回定例会 6月10日(水)～6月12日(金)  
《6月10日 午前10時開会》

### 広報常任委員会

委員長	新井田 順一
副委員長	小 林 浩一
委員	荒 明 正彦
委員	磯 目 泰彦

「プロファイルではどの学校でも一番熱血といわれていた。私共も大いに参考したいと思えます。次号も孫が届ける『じいちゃん鳴神山ハイ!』が楽しみです。」  
結びに、子供の数が激減する今「子供は宝」の本当の意味を家庭も地域も行政も見つめ直す時だと思えます。そのための環境整備にも努めてまいります。(新井田順一)

### ちよつと一言

「このたび、広報常任委員長を拝命いたしました。議会の活動を、町民の皆さまに「正確に」「分かりやすく」「身近に」感じていただけるよう委員共ども取り組んでまいります。」

広報といえば、私が最近ハマっている広報誌があります。それは、柳津小学校だより『鳴神山』です。長年続いていますが、今年度からはページが違います。4月6日のNo.1から始まり、ひと月5月11日まで、No.21を迎えました。紙面には、『ドリーム&チャレンジ』を合言葉に「心のコップを上向きに」・「ブランドを着るな、ブランドになれ」・「幸せ気分でするしつけ」・「校長室暗唱チャレンジ」などなど日々の学校と子供の様子が写真付きで読みやすく掲載されています。子供を信じ、励まし、伸ばす言葉が並び、校長先生の引き出しの多さと熱意に教育の力を感じます。(プロフィールではどの学校でも一番熱血といわれていた。私共も大いに参考したいと思えます。次号も孫が届ける『じいちゃん鳴神山ハイ!』が楽しみです。)